

奈良県初！男子のヒトパピローマウイルス(HPV) ワクチンの任意予防接種費用の一部助成を始めます。

【健康推進課】

ヒトパピローマウイルス (HPV) とは主に性行為によって感染するウイルスです。性行為を経験する年齢になれば、男女を問わず多くの方が HPV に感染します。感染をしても必ずがんや感染症になるわけではありませんが、その一部は子宮頸がんのほか、中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどの疾患の原因になることが分かっています。

現在、HPV ワクチン接種は、女子に関しては小学 6 年生から高校 1 年生相当までを対象として法が定める定期接種となっていますが、男子に対しては定期接種となっておらず、任意で接種をするには約 5 万円の費用がかかります。

HPV ワクチンは、男子に接種すると、自身の将来のがんや性感染症の予防だけでなく、将来のパートナーに感染させないことにもつながります。そのため天理市では、少しでも多くの方の感染を予防し、がんや感染症になるリスクを減らすため、令和 6 年 4 月 1 日以降に接種した男子の任意接種の費用の一部を助成します。

この取り組みにより、がん予防や性感染症予防推進の大きなメッセージになることが期待できます。

1. 対象者 接種日が令和 6 年 4 月 1 日以降である  
小学 6 年生から高校 1 年生相当の男子で  
接種日及び申請日時点で天理市に住民票のある人
2. 助成金額 1 回の上限 12,000 円
3. 助成回数 最大 3 回まで
4. 申請期限 令和 7 年 3 月 31 日まで
5. 申請方法 助成を受けるために償還払いの申請が必要です。  
医療機関で接種費用をお支払い後、ホームページに掲載している「申請書兼請求書」に領収書及び接種記録等を添付して健康推進課まで提出。

○ワクチン接種の効果等

男子が HPV ワクチンを接種することで、中咽頭がん、肛門がん、尖圭コンジローマなどを予防することが期待できます。加えて、性交渉による HPV 感染から女性を守り、子宮頸がんの予防にもつながります。

予防接種法に基づかない任意の予防接種となりますので、かかりつけ医等にご相談のうえ、予防接種による効果や副反応等を十分にご理解いただいたうえで、接種の判断をしていただくこととなります。

○対象となるワクチン

組換え沈降 4 価 HPV ワクチン(ガーダシル)

○接種スケジュール

初回(1回目)、その 2 か月後(2回目)、6 か月後(3回目)